化学物質管理

中部電力

▶ 石綿に関する調査・対策

○当社は2005年8月5日に石綿に関する調査結果を公表以降、継続的に石綿に関する調査・対策を進めています。
2024年3月末日現在の使用状況は以下のとおりです。今後も石綿の除去や非石綿製品への取替えを計画的に進めるとともに、国の石綿対策の動向や関係法令などを踏まえ、石綿問題に関して適正に対応していきます。

主な石綿の使用状況（建物・設備）

対　象		使用箇所	現状（使用状況等）	備考（対応状況他）
石綿を含有する吹付け		設備機器室、変圧器室等の防音材として一部の壁面や天井	吹付け石綿等については使用箇所を把握し計画的に対策を実施しています。　・未対策の自社建物：1棟	未対策の箇所については、変電所の停電にあわせ除去工事を計画しております。 定期的に劣化度調査、浮遊濃度測定を行い、安全を確認しています。
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード、床材等	2006年8月以前に使用された建材に含まれていると考えられます。それ以降は石綿含有製品を使用していません。	成型品であり通常状態において飛散性はありません。 定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていきます。
	防音材	変圧器の防音材 （配電設備）	3台	
	石綿セメント管	地中線用の管路材料 （送電設備・配電設備）	亘長：約923km	
	保温材	発電設備 （原子力設備）	石綿含有製品残数 約248.2m3（全数の約4.2%）全体量：5920m3	
	シール材・ジョイントシート	発電設備 （原子力設備）	石綿含有製品残数 約10.3万個（全数の約64.0%）	
	緩衝材	送電設備等の懸垂碍子	約184万個（全数の約34%）全数約546万個 （碍子内部で緩衝材として石綿含有製品を使用しています。 碍子表面の磁器部分には使用していません。）	成型品であり加えて碍子内部に封入されているため通常状態において飛散性はありません。修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていきます。
	増粘剤	架空送電線用の電線	亘長：約166km	油性材料（防食グリス）と一体化しているため通常状態において飛散性はありません。修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていきます。
	その他	上記以外にも石綿含有製品を一部使用していますが、いずれも成型品であり通常状態において飛散性はありません。 定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていきます。		

（2024年3月末現在）

▶ 化学物質への対応

○PRTR法（特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善に関する法律）を遵守するとともに、社内管理手引等に基づき、化学物質の厳正な管理と排出量低減に取り組んでいます。

○PCB処理については、法に基づき適正に処理しています。

▶ 次ページの環境経営データは個別に取得していただけます。　https://www.chuden.co.jp/csr/performance_data/#link01

Copyright © Chubu Electric Power Co., Inc. All rights reserved.